

ハンセン病問題を今考える

# 映画上映と特別トーク

## 8月19日(土)

淀川文化創造館 シアターセブン (阪急十三駅)

①13:00 映画上映

「家族・親族への思い」

②13:35 トーク

「ハンセン病回復者として地域で生きるということ」

加藤めぐみさんといちょうの会の事務局長の対談

③14:30 映画上映

「弐雄二 ハンセン病とともに生きる」

入場料 1,100円 均一

### 「弐雄二 ハンセン病とともに生きる～熊笹の尾根の生涯」

2017年/ドキュメンタリー作品/43分

詩人・弐雄二(にだま ゆうじ)は7歳でハンセン病を患い、その後遺症に絶望した。その後、詩人としてその才能を輝かせつつ、ハンセン病の強制隔離政策に伴い、人権回復・ハンセン病差別撤廃運動の先導者としてその象徴的存在となる。本作は、「人間・弐雄二」の生涯を、本人と彼を知る身近な方々へのインタビューを通して描いたドキュメンタリー映画です。

弐雄二  
ハンセン病とともに生きる  
熊笹の尾根の生涯

病むならば  
夢野に病もう。根がざり  
生命の火をかきたて  
その火で苦痛を燃やせ  
力をめなんかにほしないぞ。突き吐ぶ苦痛の火柱を創造せ。

病むならば  
夢野に病もう。もうぜったいに  
くよくよなんかにほしないぞ。

ハンセン病の強制隔離政策に抗い人権回復を訴え続け、  
ハンセン病差別撤廃運動の先導者として生きた  
詩人の生涯を描く

劇場初公開

同時上映 「家族・親族への思い～ハンセン病回復者からのメッセージ」(30分)

DVD VIDEO

企画 国立療養所生業生楽園入所者自治会  
制作 岩波映像株式会社  
上映時間 43分

同時上映 「家族・親族への思い～ハンセン病回復者からのメッセージ」(30分)

## 「家族・親族への思い～ハンセン病回復者からのメッセージ」

DVD VIDEO

2001年の国賠訴訟の和解交渉で、国は「家族もまたハンセン病になった人を排除した加害者」と主張していました。本当にそうなのでしょうか。家族であったことを隠さざるを得なかったのは社会の側に偏見や差別があるからではないでしょうか。ハンセン病回復者自身は、家族が受けた被害をどのようにとらえておられるのでしょうか。また家族や親族に対してどのような思いを持ってこれまで生きてこられたのでしょうか。3人のハンセン病回復者の方に証言していただきました。



製作・著作  
社会福祉法人 大阪府済生会  
ハンセン病回復者支援センター  
製作協力  
「もういいかい」映画製作委員会  
2017年/カラー/30分  
日本語字幕付

### 8月20日(日)～25日(金)

映画上映のみ

①「家族・親族への思い」

②「弐雄二 ハンセン病とともに生きる」

1日1回上映 2本立て 料金 1,100円 均一

【上映協力】

「もういいかい」映画製作委員会 TEL/FAX 06-6110-5059 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-27-401 アトリエエム内

### 株式会社淀川文化創造館 シアターセブン

大阪市淀川区十三本町1-7-27 サンボードシティ5F

TEL&FAX 06-4862-7733

http://www.theater-seven.com/

info@theater-seven.com @juso\_theater7

